広島大学自然科学研究支援開発センター（霞キャンパス研究棟）

先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業
事業と新機種導入説明会

日時：平成 25 年　9 月 10 日（火）
16:30 – 17:30
場所：理学部　E－208（東広島）

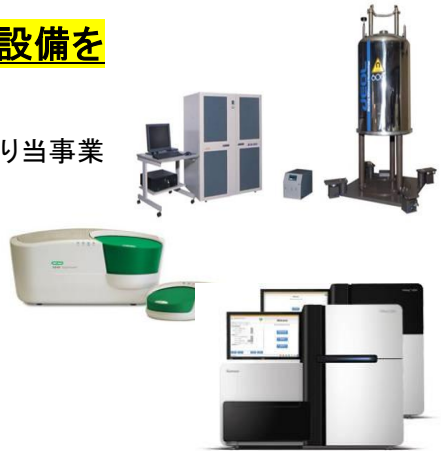
【概要】本センターは、文部科学省の研究開発施設共用等促進費補助金の採択を受け、平成 21 年 12 月から機器の学外利用を積極的に促進しております。

本事業では、先端的な研究開発施設等の共有を促進することにより、独創的・先端的な基礎研究からイノベーション創出に至るまでの効率化を図ることを目的とし、文部科学省より引き続き事業の継続が認められ、施設の利用に係る経費や施設共用技術指導員の配置などの経費の支援を受けています。

平成 25 年度より、学内の利用者は以下の通りご利用が可能になりました。

①学術利用（有償）：通常の学内利用が可能です

②産学連携無償利用：産学共同研究の場合は、初回に限り設備を最大1年間無償で利用可能（消耗品は除く）



※事業運用主体である自然科学研究支援開発センター所属の教職員は、従来通り当事業をご利用いただけません。

そのため、この度事業詳細説明、ご利用の手順を紹介いたします。併せて、本年度導入、及び、導入予定の新機種の説明会を以上のように行います。是非ともふるってご参加いただけますようお願い申し上げます。

【申し込み方法】

参加を希望される方は、①お名前②ご所属をご記入の上、下記の宛先にメールにてお申し込みください。　**※当日参加も可能です**

ホームページ：http://nbard.hiroshima-u.ac.jp/

例）核磁気共鳴装置
デジタルPCR
次世代シークエンサー

申込先　：sentannb@hiroshima-u.ac.jp

申込締切　：平成 25 年　9 月 6 日（金）11：00

お問い合わせ先　：　広島大学　自然科学研究支援開発センター

TEL　：082－257－1599　担当:大塚(内線　霞 83-6877)

提供設備

マイクロアレイ解析装置、 細胞採取装置、 セルソーター、 核磁気共鳴装置、 リアルタイム PCR、次世代シーケンサーを組み合わせた生命科学分析システム。

放射光（HiSOR）、 多光子励起レーザー走査型顕微鏡システム、 超精密ナノ加工機。

＜平成 25 年度新規導入、および導入予定＞

次世代シーケンサー（Hiseq 2500）、 質量分析装置、 デジタルPCR、質量顕微鏡、 走査電子顕微鏡、 超解像度イメージングシステム